

つるぺたS4おもらし中出しびっちしゅぎょーちゅー！（上）：
葉賀あかねちゃん・10歳の場合（つぼみ文庫）



発売日: 2018年1月28日

著者: 夜鳴タニシ

ページ: 45

この作品は上中下巻のうちの上巻です
 みゃ、おなかの中にせ - えき出てるう!? しょーがくせえだけど、あかちゃんできたらうん
 でもいいかな? おにいちゃん、いっぱいみるく出して、じゅっさいのへんたいっ子にんし
 んさせて 【葉賀あかねちゃん・J S 4 / 身長142cm、体重34kg】
 ハイテンションのへんたいエロっ子、あかねちゃん 夏休みの自由研究は、おにいちゃん
 のおち ぼ観察日記だよ! 気持ちよくなるとおもしろしちゃうけど、気にしな~い

(本文より)

- > 「あかねちゃん、ほんとはオナニーしてるだろ？」
- > 「え? し、してない」
- > 「じゃあ、漫画見てエロい気持ちになったら、どうするの？」
- > 「ならない...です」
- > 「ほんとに~？」
- > 「ほんと! ほんとだよ？」
- > 「ここ、さわってるだろ？」
- > 「さわってないよ? うふ、くすくす...」
- > 10歳ののマ コにタッチすると、もう濡れていた。
- > 「触っていると気持ちよくなる？」
- > 「え~? うん、まあ、少し.....」
- >
- > あかねちゃんを寝かせて、スカートをまくり上げた。
- > 真っ白いおなか、少し出てる。これが幼児体型ってのか。
- > 小学校4年生のかわいいワレメが現れた。
- > 「痛くしないでね？」
- > さすがに不安そうな表情。
- > 「気持ちよくなるだけだから。漫画みたいに」
- > 「うん...痛いはやだからね」
- > 毛が生えてないツルツルの縦スジのマ コ。
- > 汗と混じり合ったおしっこの匂いが少しした。
- > おれはじっくり観察する余裕もなく、むしゃぶりついた。吸い付いてベロベロ舐めると、すっぱいような味と濃い匂い。
- > おれはカウパー液がダダ漏れで、パンツがすごい濡れてるのがわかるくらいだった。
- >
- > あかねちゃんは声も出さずに、ただジッとされるがままだった。
- > 時々
- > 「ん？」
- > 「なんだコレ??」
- > という表情をする。
- > クリの皮をむいてみたが、クリはまだないみたいだった。
- > 「気持ちいい？」
- > 「うん、でも、少しだよ？」
- > 舐めてるうちにマ コの味というか、女性が感じて濡れてるときの味が混じってきた
- > クリの辺りがシコってきたので、チュッと優しく吸ってやった
- > 「あんっ!？」
- > 「気持ちよかった？」
- > 「う、うん、少し」

- >
- > おれはチポを出して自分でしごいた。
 - > あかねちゃんは驚いて
 - > 「え？ セックスするの？」
 - > と怯えた表情。
 - > 「ちがうよ、オナニーしてるんだよ」
 - > 「あ、そ、そうなんだ、へえ～」
 - > あかねちゃんは俺のチポをガン見していた。
- > おれはエロ本で仕入れた知識を総動員し、クリ周辺を丁寧に舐めたり、包皮の上からこすったり、優しく吸ってやったりした。
 - > あかねちゃんは、小さくハアハア言いはじめた。
- >
- > 試しに小指を入れてみると、
 - > 「あ...なにしてるの？」
 - > 「指が入っちゃった」
 - > 「え？ じゃあ、あたしもうしょじょじゃない？」
 - > 「まだ処女だよ。おチチ入ったら、処女じゃなくなるの」
 - > 「そうなの？ ん...っ、は...あっ」
- > 痛くはないようだ。マコが小さいから、小指をキュンキュン締めつけてきた。出し入れすると、いっちょまえにクチュックチュツといやらしい音を立てた。
 - > 「あんっ」
 - > 「痛い？」
 - > 「へーき.....」
- >
- > おれはクリを優しく舐めながら、小指をピストンした。
- > あかねちゃんの処女マコに入れた指が気持ちいい。指が気持ちいいなんて、思いもなかった。
 - > 「ん、あっ、はっ、うっ、あっ...」
- > 指が出たり入ったりするたびに、10歳の女の子はかすかに息を喘がせていた。小学生なのに、お尻に垂れるくらい、ヌルヌルが出ていた。
 - > クリを舐めながら小指をピストンしてるうちに、
 - > 「あ、んっ、おに、い、ちゃん？ まっ...て、まって...っ？」
 - > 俺の手をキュツとつかんで、あかねちゃんが必死な声で言った。
 - > 「？」
 - > 「おな、か、ムズムズ...す、る...う...お、おしっ、こ、出そう.....」
 - > と、体をヒクヒクさせた。
 - > 「出るよ？ で、出ちゃうから...もう、やめて？ ね？ やめて...っ？」
 - > 泣きそうな顔でお願いする様子が、死ぬほど可愛い。
 - > 「飲んであげる」
 - > 「え!? だめ！ だめだよ、きたないよ？」
- > おれはあかねちゃんのクリ皮に吸いついて、チュツチュツと吸ってあげた。
 - > 「わわっ!? そ、それだめ、ストップ！ ストップッ!!」
 - > 「イッちゃいそう？」
 - > 「わかんないけど...おなかがキュンってするから！」
 - > あかねちゃんは、自分のお腹を押さえて、必死な表情で訴えた。
- >
- > おれは10歳のマコから小指を抜いて、人差し指をあかねちゃんに見せた。
 - > 「人差し指入れちゃおうか」

- > 「? なに? 入れる...?」
- > 「たぶんだいじょうぶ」
- > おれは小学4年生のマ コの穴に、ニュッと指を入れた。
 - > 「あっ!? ん、なに? あ、入れた? こ、こわい」
 - > 「痛い?」
- > 「だ、だいじょう、ぶっ。ん、あっ、でも、おなかの中、いっぱいになってるよ?」
- > 人差し指でのピストンも大丈夫のようだった。少し顔をしかめるのは、小さいマ コの穴にぎゅうぎゅうに詰まっているかららしい。
 - > 「初めて指入れた?」
 - > 「うん、うん、はじめて...こういうの、はじめて...っ」
 - > ふえーん、と半べその女の子。でも、明らかに感じてる。
 - > かわいすぎて、いじめたくなる。
 - >
 - > 「あかねちゃんはエロっ子だね」
 - > 「ええっ!? あたし、エロ...? エロっこ?」
 - > 「エロ本大好きのへんたいエロっ子だろ?」
 - > 「ああん...わかんないよ...でも、エロじゃない...っ」
 - > 「エロっ子のあかねちゃん、『おマ コ気持ちいい』って行ってごらん」
 - > 「ええっ!? 言うの?? き、きもちーい...おまつ、こ、きもちーよ...っ」
 - > 「『小学生なのにイッちゃいます』は?」
 - > 「しょ、しょおがくせーなのに、イッ...ちゃいますう」
 - > あかねちゃんの処女マ コはもうドロドロにとろけて熱くなってた。
 - > 真っ赤なほっぺでフウフウ言いながら、ハアハア気持ちよがってる。
 - > 「おなかのなか、むずむずする...なんか出そうだよお」
 - > 「変態小学生におしおきしてあげる」
 - > 「え? うん、うん、して...おにいちゃん、おしおきして?」
 - > おれは小学生四年生のクリを
 - > 「(チューーーーッ)」
 - > と吸ってやった。
 - > 「んにゃーーーーッ!？」
 - > 小学四年生の女の子は、足をピンと伸ばして、体を固くした。
- > ツルツルのワレメからはチョロチョロとおしっこを漏らして、たぶんイッてしまった。

放課後のつぼみちゃんの秘密のおねだり体験! 体はちっちゃいけど、いろんなこと出来るよ ランドセルの中には、エロい好奇心がいっぱい詰まってるんだから(´ `*)